



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yasuo Ueno 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cyo, Ashiya, Hyogo, Japan
 Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp Tel. 0797-32-9360
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Joan Wilson
 「私たちの未来は、今日から始まる」"Our Future Begins Today"
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
 「ワイズ運動を尊重しよう」 "Respect Y's Movement"
 西日本区理事 岩本 悟(熊本西クラブ)
 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を」
 "Energizing Y 'Men' Clubs with the Y's spirit !"
 六甲部部长 長井慎吾(西宮クラブ)
 「楽しい交流と、やりがいのある奉仕活動で更なるクラブ
 活性化を図ろう」
 芦屋クラブ会長 上野恭男
 「ワイズの原点に戻ろう」

今月の聖句

イエスは立ち上がって大声で言われた。「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の内から生きた水が川となって流れ出るようになる。」 <ヨハネ福音書 7:37-38>

9月メネット例会

と き: 2016年9月21日(水) 19:00~21:00
 ところ: ホテル竹園芦屋 3F宴会場
 司会: 羽太光子メネット

1. 開会点鐘 五十嵐かほるメネット会長
2. クラブソング斉唱 一同
3. 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
4. ゲスト・ビジター紹介 司会
5. みどり福祉作業所支援金贈呈 上野恭男会長
6. 食前感謝 島田保子メネット
7. 会食・懇談
8. ゲストスピーチ 「お茶を一服楽しみませんか」
 宇都宮垂穂ワイズ(大阪セントラルクラブ)
9. ①第2例会議事録の承認 上野恭男会長
 ②各事業委員の報告 各事業委員
10. YMCA報告 柳原謙介連絡主事
11. ニコニコ献金報告 島田恒ファンド委員
12. 誕生日祝い 芦屋クラブはナシ
13. 閉会点鐘 五十嵐メネット会長

会 長 上野恭男
 直前会長 五十嵐政二
 副 会 長 柏原佳子・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・島田 恒
 会 計 羽太英樹
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 柳原謙介
 六甲部交流主査補佐 五十嵐政二

9

Sept., 2016
 232号

「お茶を一服楽しみませんか」

五十嵐かほる

なぜ9月がメネット月なのか分からないのですが、年に一度、こうしてメネットを表に出してくださることにまず感謝申し上げ、光栄なことと存じます。



なにかメネットらしいプログラムができないものかと思案している時、まだ7月の初めでしたが、たまたま芦屋クラブの女性4名がブルーミンモードで昼食を共にしたことがあります。倫子さまが茶道を好んでなさることに話がおよび、Y's とお茶会が結びつくことになりました。

この日の4人のうちお二人は茶道の「かたち」にとられることが気に入らんというようなご意見でした。それならば少々ご覧いただいて歩み寄っていただきたいと願い、メネット月にお茶会じみたことを計画いたしました。クリシタン大名、高山右近が茶人であったことを思えば Y's メンズクラブと茶道の結びつきも大変なミスマッチではない・・・と思うのですが、如何でしょうか？

8月末から大きな台風が日本列島を襲い、濁流が樹々をなぎ倒し家いえを壊し、多くの方々が被災されました。大自然の脅威に人間の力の小ささを思い知らされる日々、Y's メンズクラブの連携がますます求められることでしょう。

8月(西宮・芦屋合同)例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手 累計 gm
メンバー	14名	出席者	14名	
ビジター	21名	メイクアップ	名	
ゲスト	4名	合計	14名	
メネット	2名	在籍者	17名	
コメント	1名	(内広義会員1名)		
合計	42名	出席率	87.5%	
				ニコニコ
				8月 5,300円
				累計 22,490円

8月西宮・芦屋クラブ合同納涼例会報告

日時：2016年8月17日(水)18:30~21:00
 場所：ホテル竹園芦屋3F。(敬称略)
 出席者：五十嵐政二、田舎庸男、上野恭男、柏原佳子、
 桑野友子、権甲植、篠坂幸彦、島田恒、堤清、畠
 中光成、羽太英樹、福原吉孝、坂東幸子、(各メ
 ン)五十嵐かほる、畠中由佳(各メネット)、畠中
 子(コメット) 柳原謙介連絡主事

ゲスト：上野義治(島田友人)、長竹孝夫(篠坂友人)
 演奏者：中進一郎、赤賀幸一(ヒルビリー・オーサムズ)
 西宮クラブ：メン14名、メネット6名、ゲスト1名(計21名)

両クラブにとって初めての合同例会が、8月17日(水)ホテル竹園において開催された(芦屋クラブの標準に合わせてくださった)。西宮クラブ21名、芦屋クラブはコメットを含めて19名、演奏者2名の賑やかな例会となった。開会点鐘は西宮クラブの万本会長が務められ、ワイズソング斉唱。続いて、聖句紹介は芦屋から羽太メン、西宮から小野メンが担当された。羽太メンはいつも聖句と共に心にしみる解説とメッセージをいただくのであるが、この日も両クラブに発信して下さった。小野メンはご自身が参加された台湾での世界大会の経験も披露して下さった。



長井六甲部長の乾杯に始まり、会食はbuffet方式、盛沢山の料理と飲み物を楽しみ、各テーブルで交流の華が咲いた。

チャーターメンバーの上野会長、田舎・堤(各ワイズ) 右端は連続参加のゲスト上野義治氏

両クラブは隣接地であるのでメン・メネットとも顔なじみが多く、またオープンな性格の方々が多いため、ゲストや演奏者を含めて自由に楽しむことができた。わがクラブゲストの長竹孝夫さん、上野義治さんも古くからのメンバーのようにオープンな気持ちで楽しんでおられたように見受けました。今回の演しものは、芦屋クラブお馴染みのヒルビリー・オーサムズのカントリーであった。

関大・同志社の息のあったコンビ(紹介は関学篠坂メン)の親しみある曲目がボーカル付きでたっぷり披露された。続いては、これもお馴染み、カントリーには欠かせないスパイシーエンゼルのダンス。両クラブメン・メネットの引きつける魅力に誘われるかのように、フロアからも参加、筆者は総合司会を担当していたが、我知らず舞台上でボーカルに参加していた。会場一体となったようなパフォーマンスであった。

この日特別に計画されたクラブ単位の演技、西宮クラブは「高原列車は行く」、芦屋クラブは「幸せなら手を叩こう」でチャレンジした。ちょっと練習不足も笑いを誘うことにもなった。YMCA 報告、誕生日祝いと続き、ヒルビリー・オーサムズの演奏をバックに、西宮山本メネットの主導で参加者全員手をつないで声を合わせた。友情の広がりにつながりを強められた



クッキー獲得じゃんけん大会、勝ち残りの6名

た思いであった。最後は芦屋クラブ上野会長の閉会点鐘。またの機会を期待しての閉幕となった。

島田 恒

~~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*

8月例会は芦屋クラブとの合同納涼例会を行い楽しい有意義な例会が出来たと思います。皆様に楽しんで頂きほつとしております。

万本敬一 西宮クラブ会長の開会点鐘で始まり、ワイズソング斉唱 聖句朗読 ゲスト紹介食前の感謝の後、長井慎吾六甲部長の乾杯挨拶の後、芦屋クラブとの会食歓談が始まり和やかに親睦を深められました。

ビルビリーオーサムズのカントリー演奏が始まり、参加者も口ずさむ人もいらっしゃいました。

次に、スパイシーエンゼルのカントリーダンスでは、メンも加わり楽しく踊られていました。

又、西宮クラブは小道具を使い替え歌「高原列車は行く」を歌い頑張りました。芦屋クラブは、「幸せなら手をたたこう」を歌い色々と振付をし、楽しみました。



ヒルビリー・オーサムズのカントリーミュージックとおなじみのスパイシーエンゼルのダンス

芦屋クラブとの合同例会は、熱くメンバー同士交流を深め、これからも色々な行事を合同で行い和気あいあい皆様と一緒にメンバーシップの場をもっていきたいと思っております。

楽しいひと時もあっという間にすぎ、YMCA報告 誕生日祝いと続き、芦屋クラブの上野恭男会長の閉会点鐘、最後にカントリーダンスを全員で踊り、合同例会も大成功、熱い1日に感謝し終わりました。

足立康幸(西宮クラブ)



第1回 「旧約聖書って？」

権 甲植

聖書は人間が書いたものであって、神様が書いたものではありません。また私たちは地理的に遠い、習慣や文化も違う民族の、しかも数千年前に書かれた文書言葉を日本語に訳したものを読んでおり、その翻訳の過程にも人間の手が加わっています。又翻訳上問題のある所も数々あります。しかし聖書は神様の導きによって信仰を与えられた人々が、神様を信じて生きた結果、与えられた確信を伝えているのです。すなわち「神様を指し示している書物」と言えます。

聖書を一本の木に例えるなら、旧約聖書は木の「根」であり、新約聖書はその木の「花」と言えます。

「旧約」の意味

「新しい契約」にたいする「古い契約」(Ⅱコリント人への手紙、3:14)の意味で、端的に言えば、神様はユダヤ民族を通して救いの約束を与え示したということ。それに対して、「新約」とは主イエス・キリストによって全ての人々が直接救われるということの意味をしています。

つまり「新しい契約」に対して特に意識された「旧約」とは、モーセを仲介にシナイ山にて締結されたシナイ契約です(ヘブライ人への手紙、9:1~5)。

(参考)…旧約聖書の4代契約

- ① ノア契約(創世記 9)
- ② アブラハム契約(創世記 15)
- ③ ダビデ契約(サムエル記下 7)
- ④ シナイ契約です。

「旧約聖書」の内容

モーセ五書とよばれる律法

…創世記から申命記までの5巻

歴史書 ……ヨシュア記からエステル記までの12巻

文学書 ……ヨブ記から雅歌までの5巻

予言書 ……イザヤ書からマラキ書17巻(計39巻)

「中心となる教え」

一般的には次の三つ

- ① 創造者なる神様への信仰
- ② 原罪の教え
- ③ 歴史を導く神様への信仰

「書かれた文字」

大部分がヒブル語(ダニエル書とエズラ記の一部はアラム語を使用) 続く

新聞に珍しい植物の話があった

◆私にとっては20年程前にその植物と対面したのでビッグニュースではなかったが、。その時も新聞で知り大阪市立大学植物園まで対面しに行った。◆その植物は主にメキシコをはじめ中南米で生育する《リュウゼツラン(竜舌蘭)科のアオリュウゼツラン》と言う。人間の背丈をゆうに越えるくらいの《大きなアロエに似た多肉植物》が余りにも大きいのに唖然としたのを記憶している。◆それは数十年を経た頃からその中心部から花茎(大きな竹の様に)がどんどん伸びその高さは5~7mとなる。そして40~60年後に、《ただ一度だけその先端部の数ヶ所に房状の黄色い花を咲かせる。》その半世紀を経て咲いた花と感激の対面ができた。◆なんとと言ってもこの植物の凄さは背の高さだけではなく《たった一度の花が咲き終わると同時に半世紀の生涯を終え株元から三年ほどかけて枯れてゆく》と言うドラマティックさにある。◆《砂漠同然の過酷な環境の中で自身で水分を蓄え自然と一体化し生きて来た自負をもちながら見事な終末を、。勿論、子孫を残して》又いつの日か他の植物園で同じドラマの再現が、。◆花博が開かれた《咲くやこの花館》にその残骸が保存されているので先日対面し感激を新たに、。◆ご存知のメキシコ原産の蒸留酒《テキーラ》はリュウゼツラン科英名《アガベ》の仲間を蒸留して造られており西部劇などで《荒くれメキシカン》が塩を舐めながらストレートで飲んでいるあれである。(アガベ 100%の品は高価で実に美味)◆カクテルで名高い《マルガリータ》はテキーラベース。夏の夜のひととき《アオリュウゼツランの生涯》に乾杯したくなる。このカクテルが生まれた悲恋の物語、《その涙にも似た味がするマルガリータ》の話は又いつかの機会に。 篠坂幸彦



第72回台湾国際大会に参加

8月3~7日、台湾台北で開催された国際大会に参加、ワイズを通して国際交流に触れることは貴重な経験である。真の交流は「寝食を共にしてこそ」熟成されると思われる。皆様も是非参加されたい。5年前の宜蘭(イラン)でのアジア地域大会のテーマは「(Nature + Culture = Future 自然を大切にする文化は未来に繋がる)」と「(Sustainable Development 持続可能な活動)」で、今回は「Living in Harmony(調和の中に生きる)」である。○が大きいのは何故か? 今回我が5人の直前事業主任さん、西日本区国際・交流事業主任さんが7代に亘り揃い踏みは特筆。(理事通信9月号に森田国際・交流事業主任が詳しく書いておられます。) 国際・交流事業への意気込みが伺える。参加者総数は840名で、その内アジアからが70%で583名。(台湾346、西日本97、東日本84、その他54)。ヨーロッパ38、アメリカ10、カナダ・カリブ5、ラテンアメリカ4、アフリカ25、インド19、韓国57、IYCが100。東日本区のもりおかクラブ井上ワイズがインド大会に続きマゴメット2人と参加、大会前にテレサテンの墓前参詣と。最終4日目の閉会式終了後、サプライズで、荒川恭次中部直前部長がエルマークロウ賞を受賞され贈呈式があった。おめでとうございます。(理事通信9月号参照)

西村国際書記長の報告

ワイズのメンバーが減少、経費削減で家賃の高いジュネーブの本部を縮小して、5人のスタッフの内2人を残して、3人が今期からタイのチェンマイにサテライト・オフィスを設けて、西村氏自身もそこに詰めているとのこと。2022年のワイズ100周年には発祥のアメリカはカリフォルニアあたりでお祝いの大会にしたいとのことでした。次年度の第27回アジア地域大会はタイのチェンマイ、再来年の第73回国際大会は、韓国南部の麗水(Yoesuヨス)での開催を楽しみに台北を後にしました。

小野勅紘(西宮クラブ)

9月例会スピーカーのプロフィール

宇都宮垂穂(うつのみや たりほ)

大坂セントラルワイズメンズクラブ メンバー

園田学園女子大学名誉教授

大坂 YMCA 国際専門学校講師

テーマは “お茶を一服楽しみませんか” その中に、「真」という字を組み込みたいとも言っておられます

第2例会議事録(抄)

日時: 8月24日(水)

場所: 市民センター204室

ブリテン会議: 18時~18時30分

第2例会: 18時30分~20時

出席者: 上野会長・柏原・桑野・島田・羽太(各ワイズ)
柳原連絡主事

1) 第1例会の予定

- ・10月19日(水)スピーカーは畠中光成ワイズ
- ・11月16日(水)スピーカーはフードバンク(交渉中)
- ・12月23日(金)クリスマス祝会

音楽: ポルカ w/アコーディオン

クリスマス実行委員は上野会長、柏原、桑野、島田、羽太、福原、篠坂各ワイズとする

2) もりおかクラブ10周年記念例会訪問

お祝い金 50,000円

参加者への補助金は20,000円と決定

3) 7月度会計報告(羽太会計)を承認。

4) ローンボウルズ大会

参加者: 上野会長・桑野・柏原・羽太(現在の参加者)さらに参加者をメールで募る。応援も含め車を提供し乗り合わせて参加する。

5) 六甲部部会

参加者は次回例会で検討する。

6) ジャガイモファンは「十勝のじゃがいも」(西宮クラブ)と「インカのめざめ」(上野会長)の二本立て、桑野ファンが連絡をとり、実施する

7) YMCA・御影クラッセの活動報告があり、小中生25人とサークル活動を活発に展開中。

~~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*

今後の予定

★チャリティーワイン

日時: 9月30日(金) 18:30~20:30

場所: ポートピアホテル31階 トランテアン

★ローンボール大会

日時: 10月1日(土) 9:00PM~

場所: 神戸しあわせの村

★チャリティーゴルフコンペ

日時: 10月12日(水) 8:00PM~

場所: 宝塚クラシックゴルフ倶楽部

※前回は芦屋クラブが上位を独占、今回も頑張ってくださいね

★六甲部部会

日時: 11月12日(土) 14:00~19:00

場所: ラッセホール(元町)

メネットアワーも同日開催 12:30~13:45

◇サマープログラム

この夏も、たくさん子どもたちが、神戸YMCAのサマープログラムに参加致しました。ディキャンプから長期のキャンプまで、子どもたちがかけがえのない経験を積んで、少し成長した姿が各地で見られました。また、多くのボランティアリーダーも関わり、子どもたちに寄り添いながら過ごすことが出来ました。8月31日には、神戸YMCA余島キャンプ閉会礼拝がユースプラザにて行われ、卒業していくリーダーに感謝するとともに、また来年に向けて一歩目が踏み出されました。ユースプラザKOBE・EASTでも、サマースクールやイングリッシュワールドなどの夏のプログラムを行いました。ここにもたくさん子どもたち、そしてボランティアリーダーが携わってくれて、子どもたちの心と身体の井成長を見守ることが出来ました。

◇発達支援セミナーのご案内

神戸YMCAでは1994年より発達障がいをもつ幼児・学齢期子どもたちの支援を行うため「サポートプログラム」を開始し20年以上にわたって多くの課題のある子どもの学習支援や社会性指導を行って来ました。この度は、発達障がいのある子どもの基本理解と具体的な支援方法について学ぶ機会を設け、地域での課題のある子どもやその保護者支援ができる方の養成を行います。

日時: 2016年9月24日(土) 10:00~11:30

講師: 西田和子先生(神戸総合医療専門学校 言語聴覚士・特別支援教育士スーパーバイザー)

会場: 神戸市勤労会館 講習室308(神戸市中央区雲井通5-3-1)

申込: WEB <https://goo.gl/gEvYsp>電話 0798-35-5987 神戸YMCA西宮
ブランチ

◇ユースキッズまつり

毎年、ユースプラザでは、夏に、地域の子ども・親子を対象に「ユースキッズまつり」を行います。

この夏も、8月27日(土)に行われ、150名近くの子どもたちが、ゲームコーナーやサーキットにチャレンジしたり、県立御影高校吹奏楽部によるミニコンサートを行いました。これからも、地域に根付いた活動を続けていきたいと思えます。

編集後記: ◇本当に暑い暑い8月が終わりました。

◇オリンピックの感動はメダルの数に正比例しません。

高校野球も一寸裏番組のようでしたが、連日の熱戦

やはり応援を送りました。◇本当に嫌な事件も数々あり、

また北海道や北日本の台風豪雨等、自然の猛威

には無力感もあります。◇台湾台北での国際大会、

芦屋クラブから参加者は無く、西宮クラブの小野ワイズ

にご報告を依頼しました。沢山の写真付きの丁寧な

原稿を頂きましたが、紙面の都合上ご了解を得て、一

部割愛、写真も掲載できませんでした。全文は西日本

区理事通信9月号又は西宮クラブブリテン9月号を

ご覧ください。◇9月になりそれでも30度を超す日々で

すが、「秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ

おどろかれぬる」朝晩少し凌ぎ易くなりました。